

木質バイオマス資源活用の検討状況

1 経緯

- ・令和 2 年度、兵庫県は環境省の「地域の多様な課題に応える脱炭素型地域づくりモデル形成事業」の補助採択を受け、「北摂里山地域の木質バイオマスの有効利用事業」を実施した。主な内容は次のとおり。

西谷地区の木質バイオマス賦存量の調査、森林管理計画の策定に向けた調査、
環境 NGO・森林ボランティア団体の活動調査

- ・西谷地区においても、地域住民が地域資源を有効に活用することで、里山を適切に管理しつつ、地域の活性化につなげようとする意識が醸成されつつある。

R2.11.21 バイオマス勉強会・関連事業報告会

※西谷まちづくり協議会環境部主催／国・県市、まち協・自治会参加

R3.1.24 木質バイオマス総合研修会（小型チップパーによる実演）

※県市、まち協・自治会等共催

R3.3.24 木質バイオマスの有効利用事業調査結果報告会&意見交換会

※県市、まち協・自治会等共催

2 現況・今後の展望

- ・兵庫県は、（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）を共同申請者として、次の国補助事業に応募した。これは昨年度に国の補助事業の採択を受け、調査研究した事業の展開を検討する事業で、事業の実施・運営体制を構築する内容となっている。

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジリエントな地域社会実現支援事業）

- ・県の計画では県有林の伐採は来年度からであり、現在、先行モデル事業として、（株）宝塚すみれ発電、（一社）徳島地域エネルギーが、山本地区造園組合から出される剪定枝を有価物として買い取り、木質ボイラーのチップ原料としての活用を検討している。市では、剪定枝が一般廃棄物ではなく有価物に該当するかどうかについて、国の行政処分の指針に基づく性状、排出状況、取扱い形態、取引価格等の基準と照合して判断を行っているところであり、今後、県とも協議していく。
- ・県の国補助事業の採択結果は 7 月に公表予定であるが、県は森林計画の作成に向けて、（公財）地球環境戦略研究機関や（一社）徳島地域エネルギーと準備を開始したところであり、今後、地域においては、（一財）西谷自治振興やまちづくり協議会の協力が不可欠であるから、市としても県と連携して進めていく。